

父か母父ディーパインパクト×父か母父ノーザンダンサー系
この配合は8頭が出走して7頭が馬券絡み。

過去5年間に、単勝15倍以上で馬券に絡んだ馬は6頭。
その内4頭は、父か母父ディーパインパクト。
5頭は、父か母父ノーザンダンサー系。

そして6頭全てが、上り3位以内の末脚を繰り出しておりました。

この6頭の距離実績は、2200m以上での連対実績があるか、
1800m以上の重賞で3着以内の実績がありました。

2000mよりも少し長い距離でも走りきれ
スタミナと持久力、そして欧州的な末脚の伸びが
重要になるレース質であると考えております。

G3小倉記念2023「全頭診断書」

注1番カレンルシェルブル
父ハービンジャー(欧ダンチヒ系)
母父ハーツクライ(Tサンデー系)

ノーザンダンサー系×サンデー系の配合は相性の良いレース。

2200mと2400mに好走実績があり、
安定した末脚も持っております。

小倉2000mも2戦2連対の実績があり、
トラックバイアスや展開の恩恵があれば
ゴール前で差し込んで来る可能性はありそうです。

2番テーオーシリウス

父ジャスタウェイ(Pサンデー系)

母父ジンボリクリスエス(欧ロベルト系)

ダートの名馬ヴァーミアンを筆頭に

ダートで活躍馬を出す牝系ファミリー出身馬。

小倉は芝1800mに適性が高いようですので、

警戒は必要かもしれませんが、ノーザンダンサーの

血量が少ない配合なので、ここはスルーの方向で考えています。

▲3番エヒト

父ルーラーシップ(欧キングマンボ系)

母父ディープインパクト

若干「非根幹距離」に適性が傾いておりますが、

小倉でも勝ち鞍があり、重賞実績も豊富。

加えて、母父にディープインパクトを持っており、

人気になっても軽視しにくい存在です。

ただ、真冬と真夏は春ほどは走りませんので

本命としては少し寒い気が致します。

◎4番マリアエレナ

父クロフネ(米ノーザンダンサー系)

母父ディープインパクト

このレースのスーパーニックス配合。

芦毛の牝馬で夏に強く、去年も優勝し、

夏の小倉2000mは2戦2勝。

人気になりそうな気配ですが逆らいにくいと思います。

5番モズナガレボシ

父グランプリボス(米プリンスリーギフト)

母父クロフネ(米ノーザンダンサー系)

— 昨年の優勝馬ですが…

さすがにここ2年の戦績を見る限り

手を出しづらい印象ですなあ。

×6番カテドラル

父ハーツクライ(Tサンデー系)

母父ロックオブジブラルタル(欧ダンチヒ系)

距離適性が1800m以下に偏っており、

7歳馬でトップハンドの58.5キロ…

配合自体は準ニックスなので一応の押さえに。

×7番ゴールドエクリプス

父ドゥラメンテ(欧キングマンボ系)

母父ハービンジャー(欧ダンチヒ系)

距離適性は短く、格下感は否定できませんが…

ディープが走るレースはドゥラメンテも得意。

真夏の牝馬で51キロ。押さえます。

8番エニシノウタ

父キズナ(ディープ系)

母父シンボリクリスエス(欧ロベルト系)

エリザベス女王杯馬アカイトの全妹。
ですが、姉妹揃って非根幹距離シスターズ。
本馬の上り3位以内の実績は全て1800mのもの。

斤量50キロは魅力ですが、
能力的にも牡馬混合戦のここで、根幹距離となると
ちょっと手を出せない印象です。

注9番スタッドリー
父ハービンジャー
母父フジキセキ(Pサンデー系)

従兄弟にイクイノックス。
上り時計を要する展開や馬場は合いませんが、
軽い馬場の2000m・2200mは合っている印象です。

当コースに連対実績もあり、休み明けに走るタイプ。
近2走は距離が敗因で、距離短縮で変わるかも知れません。

○10番ククナ
父キングカメハメハ
母父ディープインパクト

夏場と2000mは堅実に走るタイプです。
その上母父がディープインパクトなら、
軽くは扱えません。

注11番ワンダフルタウン
父ルーラーシップ(欧キングマンボ系)
母父ディープインパクト

早熟牝系の出身で、燃え尽きた感もありますが、
前走で復調気配を見せておりました。

2歳重賞と3歳重賞を勝っており、
初めての「急坂が無い2000m」で3着くらいは
あるかも知れません。

12番ザイツインガー
父ドリームジャーニー(Lサンデー系)
母父クロフネ

短距離牝系から出た短距離タイプで
特に評価するポイントは無いと思います。

13番アップデート
父エピファネシア(欧ロベルト系)
母父ステイゴールド(Tサンデー系)

特になし

14番ヴァンケドミンゴ
父ルーラーシップ
母父アグネスタキオン

特になし

15番レヴェツァ
父ドゥラメンテ
母父シティバンク(米ミスプロ系)

特になし

注16番スカーフェイス

父ハーツクライ

母父クロフネ(米ノーザンダンサー系)

母父にヴァイスリージェント系を持つ

ディープ系、Tサンデー系種牡馬産駒は要注意血統です。

常にメンバー上位の上りを出せるタイプで、
2走前の鳴尾記念は、前が開けば際どい結果に
なっていたかも知れない勿体ない競馬でした。

夏場の実績があまりないので

当日の気配が鍵になりそうですが、

ハマればノーチャンスではないでしょう。